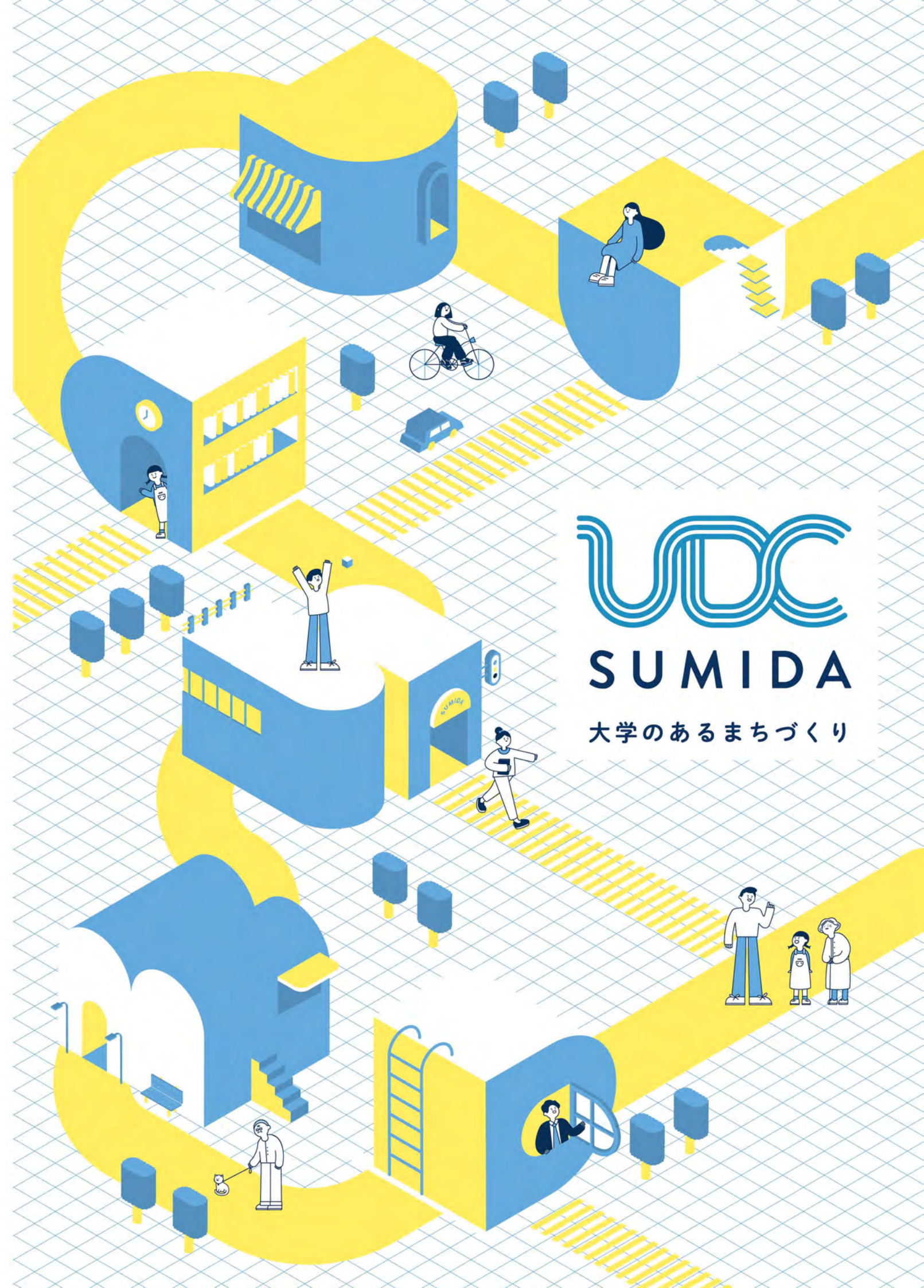
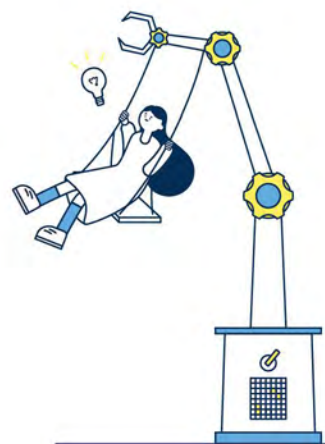


Let's communicate, create
and innovate together!



目次

『アーバンデザインセンターすみだ』誕生	01
すみだに大学がやってきた！	02
『UDC すみだ』ってなあに？	04
UDC すみだの活動拠点と活動エリア	06
UDC すみだを目指す大学のあるまちづくり	08
UDC すみだ地域と共に取り組む4つのこと	10
UDC すみだまちづくりで大切にすること	11
UDC すみだまちづくりが描くすみだの未来	12
UDC すみだシンボルプロジェクト	14



『アーバンデザインセンターすみだ』、誕生。

墨田区は、東京 23 区の中で唯一大学がない区でしたが、2 つの大学のキャンパスが文花地区にできました。大学の存在は、若者の流れを呼び込み周辺地域の賑わいを創出するだけでなく、その知を活用することによって地域の暮らしに様々な効果をもたらすことが期待されます。両大学と共に「**大学のあるまちづくり**」に取り組むために、**公民学連携プラットフォーム『アーバンデザインセンター（UDC）すみだ』**が設立されました。

すみだに 大学が やってきた！

墨田区内初の大学として、旧曳舟中学校・旧西吾嬬小学校跡地及び旧すみだ中小企業センターに、iU情報経営イノベーション専門職大学が開学、千葉大学墨田サテライトキャンパスが開設することとなりました。このエリアでは隣接するあずま百樹園と大学キャンパスの屋外空間を一体的に整備し、地域に開かれたオープンなキャンパスとなることを計画しています。大学が地域社会の発展と人材の育成に貢献することを目指し、墨田区と両校は包括的連携協定を締結しました。

iU情報経営イノベーション専門職大学



iU

2020.04 開学！

ICT/ビジネス/グローバルコミュニケーション

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」を教育理念に掲げ、4年間で情報通信技術と経営に関する知識・スキルを活用し、国際社会と地域社会でイノベーションを起こす、革新を創造する能力を身に付ける教育を行う。「ICT×ビジネス×グローバルコミュニケーション」をカリキュラムの柱とし、起業を目指す。インターンシップにより、現場での課題発見や課題解決を通じて、システム開発・保守、新規提案、実装などの専門知識と実務を身に付ける。



千葉大学 墨田サテライトキャンパス



CHIBA UNIVERSITY

2021.04 開設！

デザイン/都市・建築/ランドスケープ/イメージング/予防医学

「生活のすべてをシュミレートする」をコンセプトとした、建物全体が実証実験空間となる最先端のキャンパス。全学教育研究施設「dri（デザイン・リサーチ・インスティテュート）」の活動拠点となる。driは産学官連携による分野横断型デザイン教育、地元企業と連携した多様で実践的な研究や支援、海外学生短期受入プログラム等の実施を展開し、千葉大学のデザイン教育の中核を担う戦略的研究拠点となる。

○イメージ作成：KUME SEKKEI（実際と異なる場合があります。）



すみだメディアラボ（仮称）

（旧西吾嬬小学校跡地）

学校法人電子学園が最先端のICT研究や、オンラインで活用可能な教育コンテンツ等の開発と発信を行う施設。

iU情報経営イノベーション専門職大学

（旧曳舟中学校）

千葉大学

（旧すみだ中小企業センター）

あずま百樹園

キャンパスコモン

大学と地域の交流が生まれる広場。憩いの場でもありながら、イベントなどのさまざまな活動が行われる場に。

繋がりと共創のプラットフォーム
アーバンデザインセンター

『UDC すみだ』

ってなあに？



継続的な 公・民・学連携を生み出す

『UDC すみだ』は、「公・民・学」が共同で設立・運営する組織です。〈大学のあるまちづくり〉を実現するためには、地域社会に必要な公的サービスを担う「公」、地域の活力と魅力の向上を担う「民」、そして専門知識や技術を基に先進的な活動を担う「学」が、従来の枠組みを超えて連携する新たなまちづくりの仕組みを構築する必要があります。

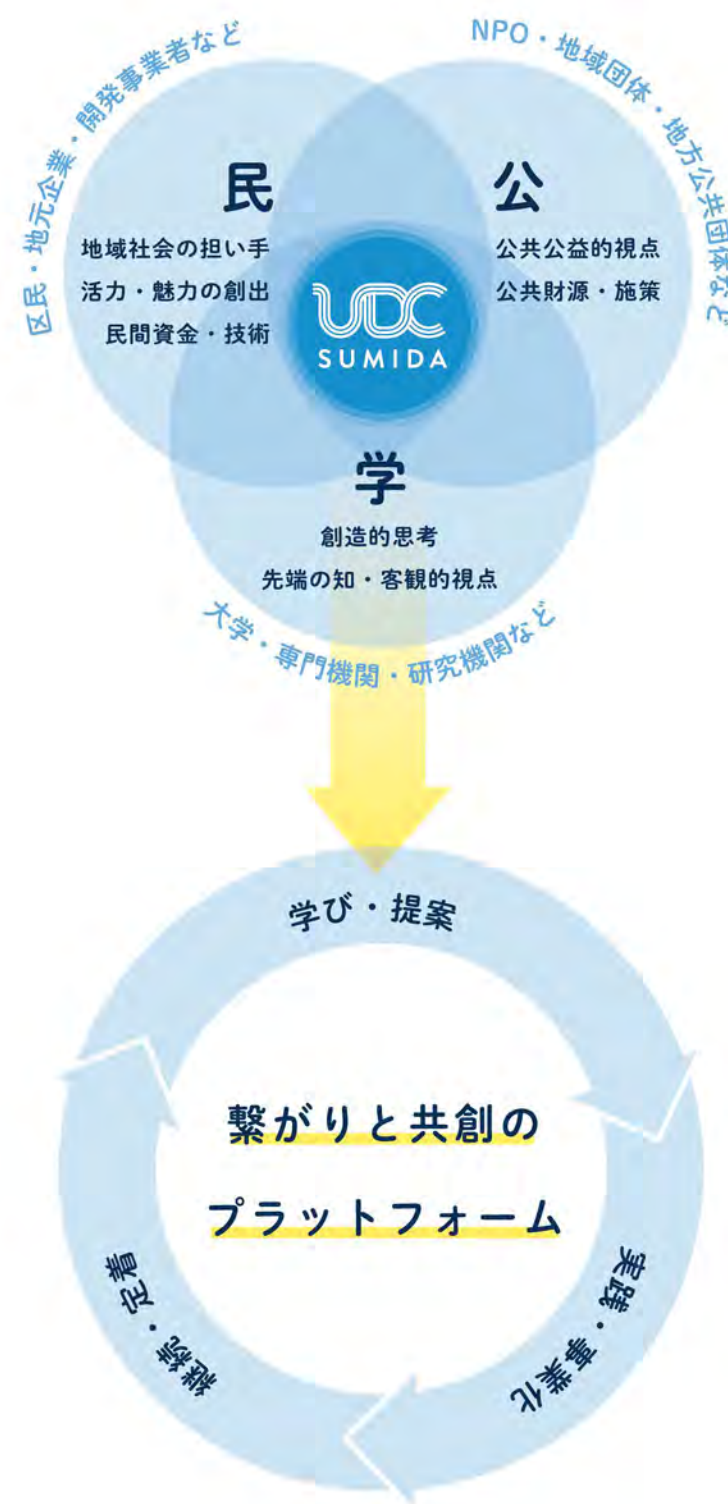
それぞれが共に力を合わせて〈すみだの未来〉をつくるためには、様々な構想の設定や実現に向けて、関係機関との調整、制度の改善や上位計画へのフィードバック、フォローアップが必要です。また、一度設定した目標や施策を、めまぐるしく変わる社会の状況に応じて再検討し、柔軟な姿勢で見直し・修正しながら運用していくことも重要です。各団体の協力・連携を継続して維持し、共に構想を推進していくためのプラットフォームとして、UDC すみだが設立されました。

継続的な連携

公
民
学

川の流れ

隅田川・荒川・旧中川・北十間川など
墨田区にある川水の流れを表現



UDCとは、アーバンデザインセンター（Urban Design Center）の略称です。

「公・民・学」が連携するまちづくり組織として、活動対象エリアに拠点施設を構え、将来ビジョンの検討や都市空間のデザインマネジメント等のハード面、まちづくりの担い手育成や地域デザインプログラム等のソフト面、双方のアプローチから、総合的なまちづくりに取り組みます。

UDCは、2006年の柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）創設時に構想された「課題解決型＝未来創造型まちづくり」のための公・民・学連携のプラットフォームです。

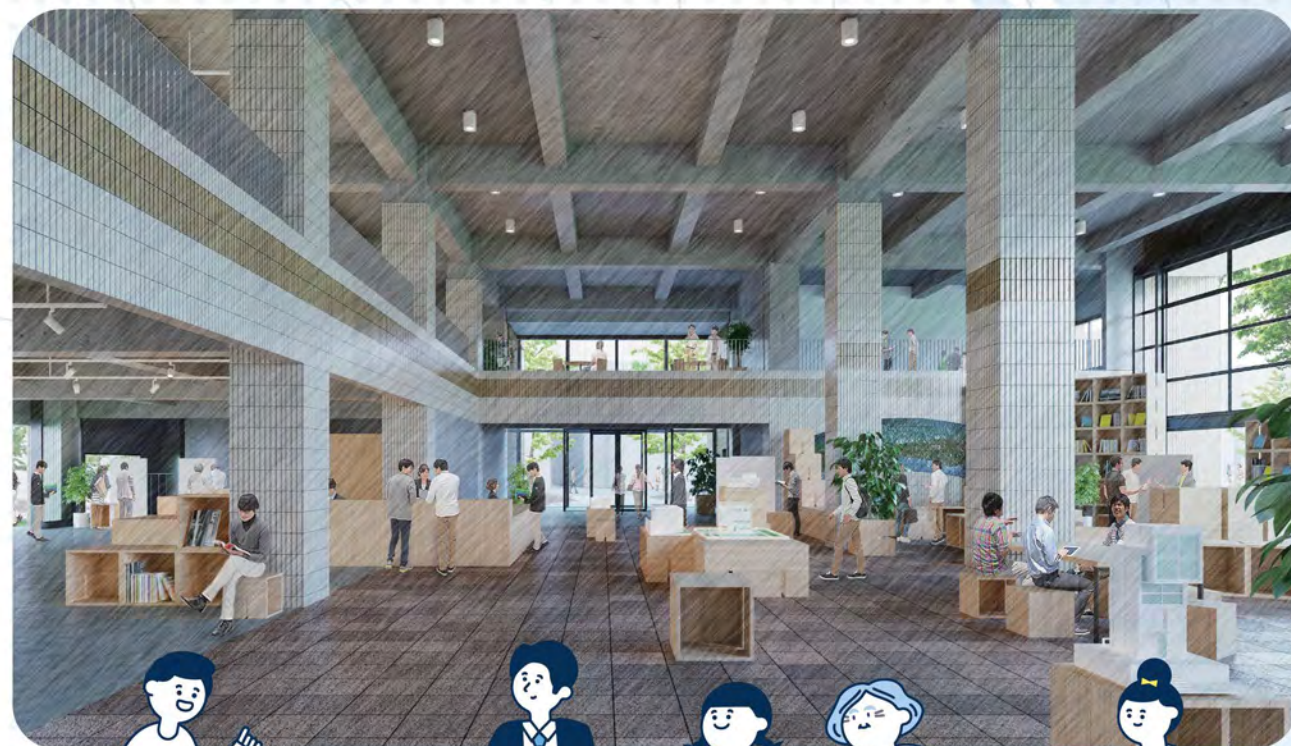
行政都市計画や市民まちづくりの枠組みを超え、地域に係る各主体が連携し、都市デザインの専門家が客観的立場から携わる新たな形のまちづくり組織や拠点として、UDCアジェンダのもとに全国に展開しています。



UDC すみだの 活動拠点と 活動エリア

活動拠点

千葉大学 墨田サテライトキャンパス 1 階に、UDC すみだの拠点が誕生します。区民や地元企業と連携し、まちなかの賑わい再生を目指し、様々な活動を通じた交流・人材育成の場、憩いの場として、そしてまちづくりの情報発信拠点として、活用できるスペースです。



○空間イメージ作成：KUME SEKKEI（実際と異なる場合があります。）

活動エリア

UDC すみだの活動エリアは、まずは大学のある京島・文花地区及び押上地区、それらに隣接して流れる北十間川沿いを対象としています。将来的には墨田区全域で、さらには隣接する区と連携をして、様々な取り組みを行っていく予定です。



キャンパスのように まちをつくり、

まちのように キャンパスをつかう。

01 良質な都市空間をつくる

公共空間 デザインマネジメント

大学のキャンパスは、複数の学部や学科、様々な研究施設、学生の福利施設など、様々な機能や用途の空間が集約しています。大学が持つキャンパスづくりの発想やノウハウは、機能が多様化するまちの都市デザインに有効です。大学のあるまちづくりにふさわしい創造性にあふれた良質な都市空間の形成に向け、公共空間デザインに係る検討・助言、建築活動等に係る相談・協議、地域の合意形成支援、学習プログラム運営などに、総合的に取り組みます。

02 地域で学ぶ、地域も学ぶ

産業振興 人材育成

地域全体をキャンパスに見立て、地域の中で現実の地域・社会の課題に立脚した取り組みを行うことによって、学生の実践的な教育を行うことができます。地域と大学が共同で地域課題に取り組むこと、大学内に足りない機能は積極的にまちにある機能を活用することで、まち全体が生きた実験場（リビングラボ）となり、大学の研究環境以上の共創の場が生まれる可能性があります。また、地域活性化や地域住民の人材育成にも繋がります。

03 大学の知見や空間がまちと繋がる

産業振興 人材育成 公共空間

各大学が有する人的資源、学術的な蓄積、空間的資源を地域課題解決に活用することで、公民学連携による高度な共同研究の機会を生み、イノベーションを創出することが期待できます。また、公開講座を実施したり、緑豊かな屋外空間などを地域市民も活用できるようにすることで、大学の知見や空間がまちとつながり、地域の教育や暮らしの豊かさの実現に役立ちます。

UDC すみだが 地域と共に取り組む 4 つのこと

01 繋ぐ CONNECT



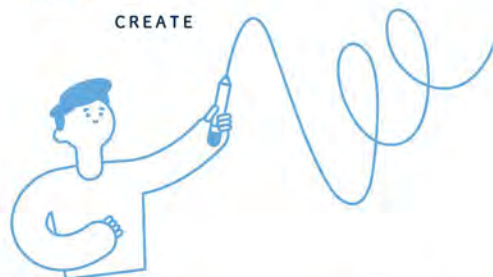
地域内には様々な資源、多様な人や産業、幅広い情報などが点在しています。これらを繋ぐ役割を果たし、新たな共創や連携を生み出します。

02 学ぶ LEARN



地域密着型のシンクタンクとして、先進的な知識や技術、地域の歴史や資源、社会の課題や新しい価値観など、様々な分野について、調査・分析・研究を行います。

03 創る CREATE



古いものを活かし、新しいものを加え、未来に向けた暮らし・風景・場・仕組み・ネットワーク・事業をハード面・ソフト面の双方から、まちに必要なものを考え、創造します。

04 伝える COMMUNICATE



地域の課題や活動内容、成果などの情報を透明性をもって地域の方々へ発信します。また、取り組みやすみだの魅力について、地域外へ広く発信します。

UDC すみだがまちづくりで大切にすること

誰にでも優しく (ユニバーサルデザイン)

あらゆるサービスや環境、仕組みにおいて、障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいようにデザインする考え方を大切にします。



共創と継続 (リビングラボ)

市民・社会を中心に据えて、ものづくり・サービス・政策等を創り出す新しいイノベーション創出の考え方をリビングラボと言います。日々の生活や仕事の現場（リビング）などを研究開発の場（ラボ）に見立て、多様な主体と協働してアイデアを創出します。また、時と共に変わっていく暮らしと継続的に向き合い、時代に合わせた新しい社会的価値を生み出していく柔軟な取り組みを目指します。



持続可能性

(SDGs の指針に基づいて)

SDGs とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015 年 9 月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。SDGs の考え方をもとに、墨田区で取り組んでいることが日本や世界全体の環境・社会・経済などを将来にわたって適切に維持・保全し、発展することに貢献することを目指します。



UDC すみだが描く すみだの未来

「すみだの未来」をつくる

墨田区では、区民と区が共に目指す目標として、2005年に「墨田区基本構想」を策定しました。その中で、〈すみだの未来〉を実現するために5つのまちづくりの基本目標を掲げています。UDC すみだでは、それらの実現に向けて、前提とする考え方を基盤にさらに具体的な目標設定とプロジェクトの実施を行います。

すみだに掲げる5つの基本目標

- 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
- 地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる
- 新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる
- 安心して暮らせる「すみだ」をつくる
- 区民と区が協働で「すみだ」をつくる

「墨田区基本構想 - 第3章まちづくりの基本理念と基本目標」より

「すみだ百計」で「すみだ百景」をつくる



5つの基本目標をもとに、分野ごとに10の目標を設定します。この目標を実現するために、すみだにある「すみだ百景」「百花園」「百樹園」にちなんで100（たくさん）のプロジェクトの種を蒔き、それがすみだの歴史・伝統・文化を肥沃な土壌として大きな樹木に成長し、まちに根ざしていくことを目指します。

10

の目標

と

100

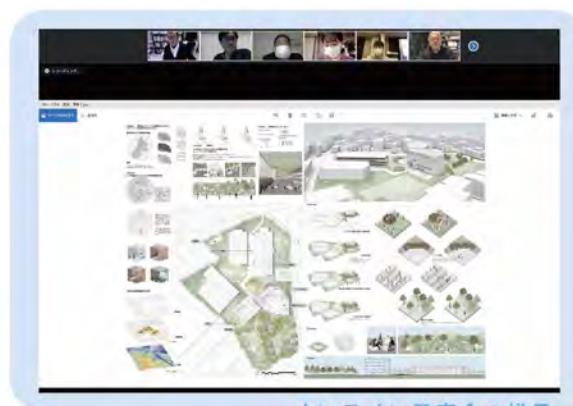
のプロジェクト



UDC すみだシンボルプロジェクト①

地域と大学の交流広場『キャンパスコモン』の整備

iU 情報経営イノベーション専門職大学と千葉大学の両学のキャンパスの間に、「キャンパスコモン」という公共屋外スペースが誕生します。あずま百樹園の再整備と一体的に計画が行われ、誰もが利用できる公共的な空間となる予定です。このキャンパスコモンの環境やデザインの質を向上するため、プロジェクト演習として千葉大学のランドスケープ学コースと建築学コースの学生たちがアイデアを考え、提案を行いました。



オンライン発表会の様子。

Group A 想像 X 創造



任 佳莹、湯 寧曉、平木 咲耶子、水谷 亮介

Group B 路地尊 X キャンパスコモン



盛 心悅、黄 佳璇、馮 曉萌、廖 小羽、玉置 耕大

Group C スカイツリー三十六景



劉 佳、陳 書含、楊 逸梵、劉 昕宇、池田 和樹

Group D 還・環・コモン



島田 洋太、Lin Tianyi、LIU YUYANG、村上 龍平

Group E 園芸の杜



尾 石光、廖 学武、呂 永驊、石渡 楓平

Group F 路地白



林 小可、葉 昊、岩切 菜月、清水 啓甫

Group G 街の待合室



翁 尉華、汪 慧心、李 姝穎、本澤 慶人

Group H 地域乗り換え駅



徐 子毅、馬 若晨、王 琳琳、成 鈺、平田 かれん

UDC すみだシンボルプロジェクト② 大学のあるまちづくり構想の策定

iU 情報経営イノベーション専門職大学と千葉大学の学生を対象に、すみだのこれからを考えるアイデアを募集した「すみだアーバンデザイン・アイデアコンペ」を開催しました。墨田区全体の課題点に対して複合的な解決策を募集し、たくさんのアイデアが集まりました。

コンペの結果や成果発表会の様子は、UDC すみだ web ページよりご覧いただけます。



A modern, industrial-style interior space. The room features a long, dark wooden table in the center, surrounded by chairs. To the left, there is a kitchen area with a blue wall, a white countertop, and a built-in oven. The ceiling is made of exposed wooden beams, and the floor is a light-colored concrete. Large windows at the end of the room provide natural light. The overall aesthetic is minimalist and contemporary.